

JFA バーモントカップ 第36回全日本U-12フットサル選手権愛知県大会

募集要項

1. 名 称
JFA バーモントカップ 第36回全日本U-12フットサル選手権愛知県大会
2. 主 催
公益財団法人愛知県サッカー協会日本サッカー協会
3. 主 管
公益財団法人愛知県サッカー協会フットサル委員会
4. 特別協賛
ハウス食品グループ本社株式会社
5. 協 力
株式会社モルテン
6. 日程・会場
予選ラウンド
2026年4月25日(土) 名古屋市昭和スポーツセンター
2026年4月26日(日) スカイホール豊田
2026年5月4日(月) 名古屋市名東スポーツセンター
(全日本U18大会と共催になる可能性あり)
2026年5月5日(火) 名古屋市中スポーツセンター(午前予選ラウンド、午後決勝ラウンド)
決勝ラウンド
2026年5月6日(水) 名古屋市中村スポーツセンター(午後)
2026年5月10日(日) 名古屋市昭和スポーツセンター
7. 参加資格
 - (1) フットサルチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会(以下、「日本協会」とする。)に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
 - ② 前項のチームに所属する2014年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (2) サッカーチームの場合
 - ① 本協会に「4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
 - ② 前項のチームに所属する2014年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (3) 都道府県大会、地域大会を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチーム

が複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。

(4) 選手は、複数のチームで参加できない。

8. 募集チームとその数

34 チーム

34 チームに満たない場合、34 チームを超える場合は、競技形式を変更する場合がある。

9. 大会形式

(1) 予選ラウンド: 30 チームを 3 チームずつ 10 グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ上位 1 位の 10 チームが決勝ラウンドへ進出する。

順位は、グループ内の勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち 3、引分け 1、負け 0 とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

- ① 当該チーム内の対戦成績
- ② 当該チーム内の得失点差
- ③ 当該チーム内の総得点数
- ④ グループ内の総得失点差
- ⑤ グループ内の総得点数
- ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム

(ア) 警告 1 回 1 ポイント

(イ) 警告 2 回による退場 1 回 3 ポイント

(ウ) 退場 1 回 3 ポイント

(エ) 警告 1 回に続く退場 1 回 4 ポイント

⑦ 抽選

各グループ 2 位の中で成績上位 4 チームは、各グループにおける勝点合計の多いチームを上位とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

- ① 各グループにおける総得失点差
- ② 各グループにおける総得点数
- ③ 抽選

(2) 決勝ラウンド: 予選ラウンド各グループ 1 位の 10 チームに加え、前年ベスト 4 の 14 チームによるノックアウト方式で行う。3 位決定戦を行わない。

10. 競技規則

大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

11. 競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

(1) ピッチ(会場により大きさは変わる可能性がある)

- ① 大きさ: 原則として、32m × 16m

センターサークルの半径: 2.5m

ペナルティーエリア四分円の半径: 5m

ペナルティーマーク: 5m

第 2 ペナルティーマーク: 8m

交代ゾーンの長さ: 4m

タイムキーパーの机の前のエリア: ハーフウェーラインの両端からそれぞれ 4m

② 守備側競技者のボール等から離れる距離

フリーキック:4m

コーナーキック:4m

キックイン:4m

(2) ボール

試合球:モルテン製 ヴァンタジオ 3000 フットサル3号ボール

(3) 競技者の数

競技者の数:5名

交代要員の数:5名以内

ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数:2名以内。

(4) チーム役員の数

3名以内

(5) 競技者の用具

① ユニフォーム:

(ア)本協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

(イ)フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。

(ウ)チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。

(エ)フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。

(オ)シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

(カ)選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

(キ)ユニフォームへの広告表示については、日本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。

(ク)正・副の2色については明確に異なる色とする。

(ケ)主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

(コ)前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

(サ)その他のユニフォームに関する事項については、本協会のユニフォーム規程に則る。

② 靴:キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が飴色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、

または体育館用シューズタイプのものとする。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)但し、ノンマーキングシューズは靴底が着色されたものでも施設が許可をしている場合は、着用可能とする。

- ③ ビブス:交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- ④ アームバンド:各チームには、識別できるアームバンドを着用したキャプテンがいなければならない。アームバンドは、「captain」という単語、もしくは「C」という文字やその翻訳された単語、文字も入れることができるが、単色でなければならない。

愛知県大会に限り、以下を認める。

・ユニフォーム1着のみ

・背番号のあるビブス着用(ただし、同色の袖ありのシャツ、同色のショーツ、同色のストッキングは必要)

・同一チームで複数チーム参加する場合のスタッフの二重登録

(6) 試合時間

- ① 予選ラウンド:16 分間(各 8 分間からなる 2 つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは 3 分間(第 1 ピリオド終了から第 2 ピリオド開始まで)とする。
- ② 決勝ラウンド:20 分間(各 10 分間からなる 2 つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは 5 分間(第 1 ピリオド終了から第 2 ピリオド開始まで)とする。

(7) ホームチーム

日程・組合せ表の日台側チームをホームチームとし、第1ピリオドのベンチはオフィシャル席からピッチに向かい左側のベンチとする。第1ピリオド終了後ベンチ交代をする。

(8)試合の勝者を決定する方法(試合時間内で勝敗が決しない場合)

- ① 予選ラウンド:引き分け
- ② 決勝ラウンド(決勝戦を除く):PK 方式により勝敗を決定する。PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。
- ③ 決勝:6 分間(各 3 分間からなる 2 つのピリオド)の延長戦を行い、決しない場合は PK 方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは 5 分間とし、PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

12. 懲 罰

- (1) 本大会の予選は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。
- (3) 本大会期間中に警告の累積が 2 回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。
- (4) 前項により出場停止処分を受けたとき、1 次ラウンド終了時点で警告の累積が 1 回のとき、または、本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。
- (5) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (6) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。委員長は、本協会審判委員会フットサル・ビーチ部会長とする。

13. 参加申込

- (1)チームあたり 24 名(選手 20 名、役員 4 名)を上限とする。

(2) 申込みは所定の大会登録票に必要事項を記入のうえ、大会事務局宛に、メールで送付すること。KICKOFF 登録が間に合っていない場合は選手番号は空白で提出。登録完了後選手番号を記入して再提出をお願いします。

(3) チーム名は短縮語を除き、日本語で表記しなければならない。

(4) 申込締切日:2026年3月29日(月) 18:00

(5) 前項の申込締切日以降の参加申込内容の変更は認めない。

参加申込受付のメールを返信しますので、返信メールが届かない場合は、受付されていない可能性がありますので、再度申し込みをお願いします。

(6) **予選ラウンドの参加希望、参加不可日がある場合は、申込時のメール本文で参加希望日順、参加不可日等を伝えて下さい。予選ラウンドは申込チーム数により無くなる日程もある可能性があります。参加希望日は複数日程で希望を出して下さい。**

14. 選手証

各チームの登録選手は、原則として日本協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、日本協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

電子登録証が確認できない場合は、試合に出場できない。

※顔社員は下記イメージの通り免許証等同等の規格とし、年度の登録時に6カ月以内に撮影されたものとする。



15 組み合わせ

代表者会議において抽選を行い決定する。

16. 参加料

16,000 円(全参加チーム)

決勝ラウンド参加費 5,000 円/1日

参加チーム確定後、参加費と振込口座をお知らせしますので、期限までに振込をお願いします。

領収書は振込票にて対応をお願いします。

17. 表彰

(1) 優勝、準優勝、第3位のチームを表彰する。

(2) 優勝チームは全国大会へ出場する。

2026年8月8日(土)~12日(火)

東京都/駒沢オリンピック後援総合運動場

16 代表者会議、マッチコーディネーションミーティング

<代表者会議>

実施しない

<マッチコーディネーションミーティング>

チーム代表者は必ず、両チームの代表者、審判員とのマッチコーディネーションミーティングに出

席しなければならない。

予選ラウンド:グループ第1 試合キックオフ60分前(予選グループ全チーム参加)

決勝ラウンド:キックオフ60分前

ユニフォーム2着(FP・GKとも)、メンバー提出用紙、選手証、ビブスを持参すること。

15. 傷害補償

チームの責任において傷害保険(物損含む)に加入すること。

16. 負傷対応

競技中の疾病、傷病等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

17. その他

- (1) 参加チームと選手は、本協会の基本規程および付属する諸規程(ユニフォーム規程等)を順守しなければならない。詳細については、JFA ホームページを参照すること。(http://www.jfa.jp/)。本実施要項に記載のない事項については、東海サッカー協会フットサル委員会にて決定する。
- (2) 試合開始予定時刻で選手が3人未満の場合は、当該チームは不戦敗とする。ただし、前試合が遅れている場合は「試合開始予定時刻」は「試合開始が可能になった時点」と読み替える。
- (3) 試合開始前のチェックに間に合わない選手は、第3 審判のチェックを受け途中出場を認める。
- (4) 天変地異その他不可抗力により試合を欠場した場合は、その処置を東海委員長会議で協議し処理する。
- (5) 会場内外の器物破損が発生した場合は、破損させたチームで全額を弁済することとする。
- (6) 審判、オフィシャル(タイムキーパー・記録・ボールパーソン)は割り当てに従い、各チームで任務遂行する。その際の服装は、試合中の両チームのユニフォームと異なる色で、肩の隠れるシャツを着用し、靴下および靴を履くこと。ボールパーソンは1箇所1名で4箇所の椅子に座り、足を組まず、手でボールを保持する。
- (7) 退場があった場合は、試合終了後、チーム代表者・該当選手への事情聴取がある。
- (8) 試合開始時、先発メンバーには GK(GK のユニフォーム[シャツ・パンツ・ソックス]を着用した選手)が1名必ずいること。(試合開始時に、1名のFPが上衣のみ GK ユニフォームに変えて出場するのは認めない。[競技規則による])
- (9) ユニフォーム(シャツ)の下に着用するアンダーシャツはユニフォームの袖と同色でなければならない。(左右の袖の色がことなる場合においても、それぞれの色と同色となるアンダーシャツを着用すること)
- (10) 背番号など番号の変更のための貼番号は本大会内で許可するが、四辺(角ではなく辺)を固定し、試合中はがれないようにすること。また台紙の布の色はユニフォームの色と同じとし、番号も他のユニフォームと同じ色とする。が、判別しづらい場合は白の布に黒の番号も許可する。
- (11) ベンチ内での飲水は水のみとする。水以外のお茶、スポーツドリンク等は指定の場所で飲水可能とする。
- (12) ピッチ内でガム、アメを口に含んでの入場を一切禁止とする。
- (13) 帽子、キャップ、サングラス等競技に関係なく不要な物のものの着用を禁止します。
- (14) ピッチ内で唾を吐く行為は禁止します。
- (15) ビブスのメーカー以外のスポンサー等の表示については制限ありません。ただし、会場により広告料を請求される場合はチーム対応とする。
- (16) 着替えは更衣室にて着替えること。観客席で着替えないこと。

(17) SNS等動画配信は禁止とする。ただし、対戦相手の許可があれば可能とする。

18. 大会事務局・申込先・問い合わせ先

(公財)愛知県サッカー協会フットサル委員会

小山 貴輝

koyama-futsal@mediacat.ne.jp

以上